News Release

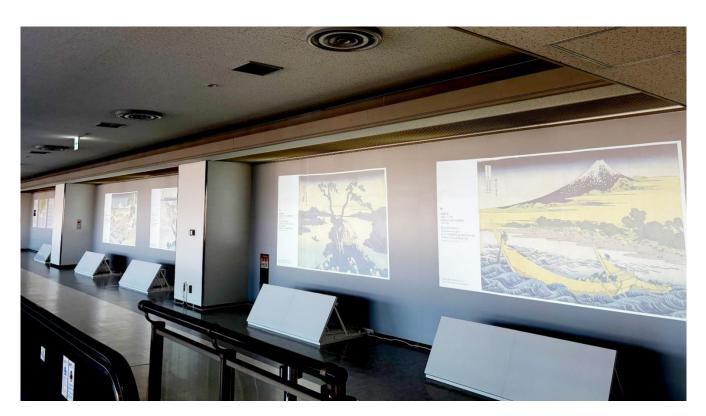
つぎのミライは、 あなたの街から はじまる。

NTT東日本グループ

2025 年 5 月 1 日 株式会社 NTT ArtTechnology

成田空港にて高精細デジタルデータによる葛飾北斎「冨嶽三十六景」の展示を実施 〜地方への送客を目指した日本の文化芸術の魅力を発信〜

株式会社 NTT ArtTechnology(代表取締役社長:国枝 学、以下「NTT ArtTechnology」)は、成田国際空港株式会社(代表取締役社長:田村 明比古、以下「成田国際空港」)からの委託をうけ、成田空港第 2 ターミナル (入国手続き前エリア) にて、日本を代表する浮世絵師・葛飾北斎の「冨嶽三十六景」の高精細デジタルデータによる展示を 2025 年 5 月 1 日 (木) より行います。日本を訪れた海外からのお客さまに「冨嶽三十六景」の魅力を感じてもらうことで、作品に描かれた地域や所蔵元への送客を目指します。



1. 展示概要

【期間】2025 年 5 月 1 日 (木) ~2025 年 9 月 30 日 (火)

【場所】成田空港 第 2 ターミナル (入国手続き前エリア)

【主催】成田国際空港株式会社

【企画·制作】株式会社 NTT ArtTechnology

【協力】山梨県立博物館、株式会社アルステクネ

2. 背景

NTT ArtTechnology は、ICT を活用して、様々な人々が身近な環境で文化芸術を楽しむことができる「分散型デジタルミュージアム構想」の実現を目指しています。その取り組みの一つとして、海外でも非常に人気が高い葛飾北斎をテーマとした「Digital×北斎」プロジェクトを、高度なデジタル化技術(特許技術)を有する株式会社アルステクネ(以下、「アルステクネ」)と連携して推進しています。これまでに山梨県立博物館所蔵の「冨嶽三十六景」や長野県小布施町にある岩松院の本堂天井に描かれた「鳳凰図」(通称:八方睨み鳳凰図)、北斎館所蔵の肉筆画、祭屋台の天井絵などの高精細デジタルデータを活用した様々な展覧会を開催しています。成田空港では2024年1月から2月にかけて第2ターミナルサテライト3階(出国手続き後エリア)にて「Digital×北斎」 in Narita Airport 展を開催し、ご覧になった旅行客の方々から高い評価をいただきました。

今回は入国手続き前エリアで「富嶽三十六景」全作品の高精細デジタルデータをプロジェクターを用いて投影する展示を 行うことにより、ご覧になった海外からのお客さまが日本滞在中に作品に描かれた地域や、原画所蔵元の山梨県立博物館 を訪れてくださることを目指します。

3. 展示作品

葛飾北斎「富嶽三十六景」(拡大版静止画投影 全 47 図) (原画:山梨県立博物館所蔵) ※縦 1.35 m × 横 2.0 m、面積比約 28 倍

(参考)

〇葛飾北斎「冨嶽三十六景」

山梨県立博物館所蔵の「富嶽三十六景」は、その良好な品質と保存状態から、新千円札や新パスポートの元絵のひとつとして選定されている日本有数のコレクションである。アルステクネが同社の特許技術「三次元質感画像処理技術(DTIP)」を活用し、2018年に山梨県の公認事業として高精細デジタル化を実施。その後NTT東日本主催「Digital×北斎」展シリーズの【序章】(2019年11月~2020年2月)、【破章】(2020年12月~2022年7月)、【急章】その1(2023年4月~12月)、【急章】その2(2024年11月~2025年3月)(いずれも東京・初台のNTTインターコミュニケーション・センター[ICC]にて開催)などで、高精細複製画や高精細デジタルデータを使用して制作したデジタルアプリケーションの展示を行った。

※「Digital×北斎」展シリーズ https://www.ntt-east.co.jp/art/index.html

O「Digital×北斎」 in Narita Airport 展(2024年1月22日~2月13日)

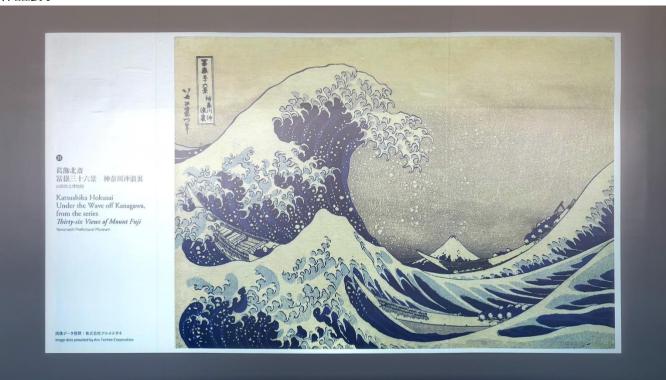
https://www.ntt-arttechnology.com/news/release20240119.pdf

【本件に関する問い合わせ先】 株式会社 NTT ArtTechnology デジタルアート推進事業部

TEL: 03-5353-0844 MAIL: info@ntt-arttechnology.com

(別紙)

作品展示



葛飾北斎「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(拡大版静止画投影) (原画:山梨県立博物館所蔵)

解説および作品展示



(左より)「山梨県立博物館紹介」「冨嶽三十六景地図」「葛飾北斎解説」 葛飾北斎「冨嶽三十六景 武州千住」(拡大版静止画投影)(原画:山梨県立博物館所蔵)